

1 単位時間の学習過程と学習活動（1次）

教科書内容の理解を中心とした授業

学習計画（見通し）

- 単元全体のゴールや本時の課題を捉える。
- 自らの学習計画を立てる。
 - ・ 北海道地方と九州地方の違いを考えながら学習計画を立てる。

授業の学び

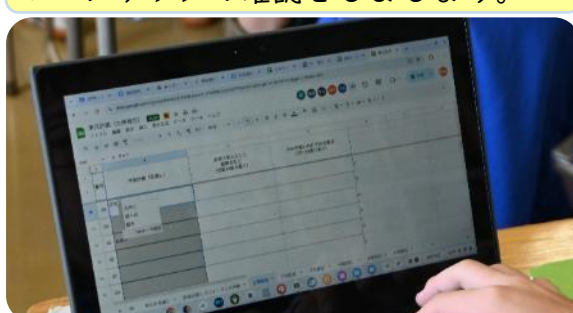
- 単元のゴールに向かって学びを進める。
- 自らの学習計画に従って行動する。
 - ・ 九州地方の地形による暮らしへの影響や北海道との気候の違いなどについて知識を深める。

振り返り

- 学習計画に従って行動できたか振り返る。（本時の振り返り）
 - ・ 本時で分かったことを記入する。
- 次時に生かす振り返りを行う。（次への振り返り）
 - ・ 次時へ生かす内容を記入する。



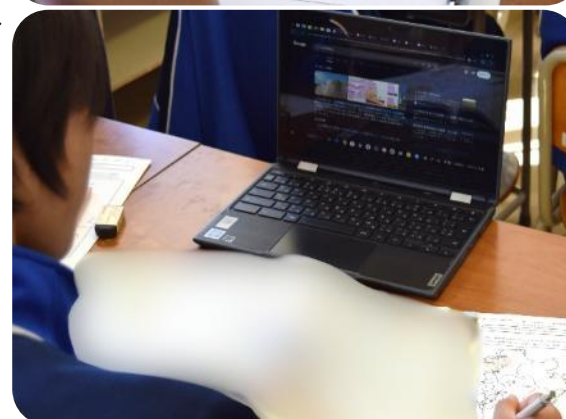
単元の目標やパフォーマンス課題とルーブリックの確認をしましょう。



九州地方の地形や気候について、様々な資料からどのようなことが読み取れそうか、自分でも見通しを立てよう。



教科書ベースで調べてみて、九州地方は島や山が多く分布していることがわかった。これだけ火山が多いと、九州地方の地形に何か影響を与えているのではないかな。



本時のキーワードである、「カルデラ」や「シラス台地」はもう少し調べる必要があるな。タブレットで検索して、より詳しい情報を書き入れよう。



授業として、必ず押さえたい情報を最後に共有します。社会科ポータルサイトにもアップロードしておきます。九州地方が有する火山や平野、また接する海洋についてはこちらのようになっています。加えて、キーワードの「カルデラ」や「シラス台地」については、タブレットで調べてくれた人もいましたね。北海道にも同じような地形があるので、確認しておきましょう。



本時は、九州地方の地形を中心に学習できた。北海道よりも火山の数が多いように感じた。パフォーマンス課題では移住がテーマなので、暮らすためのメリット・デメリットの情報をもっと集めたい。次回は気候について学習する予定だから、「雨温図」などに気を付けて学習していこうと思う。

主体性の目安となる自己調整の度合い

学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子ども	教師	子ども	教師	子ども
9	1	5	5	8	2

教師の指導・支援

- ・ 授業の最初に行う個人の課題立てでは、パフォーマンス課題も意識して設定することができるようにする。【課題】
- ・ 九州地方の様々な資料から地形、気候の情報を収集し、ワークシートにまとめることができるようにする。【過程】
- ・ 個人での取組を基本としながら、対話的な活動も行うことができるようにする。【形態】

社会科 中学校 第2学年 (5/9時間) 実践例
「地理的分野 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方」

目標：自然環境を中心として考えつつ、他の事象とも関連付けて、それぞれの地方での暮らしで想像されるメリット・デメリット両面をプレゼンで表現する。

1 単位時間の学習過程と学習活動（2次）

パフォーマンス課題の解決に向けた活動を中心とした授業

学習計画（見通し）

- 単元全体のゴールや本時の課題を捉える。
- 自らの学習計画を立てる。
 - ・北海道地方と九州地方の自然環境や暮らしの違いを考えながら、パフォーマンス課題に向かうための学習計画を立てる。

授業の学び

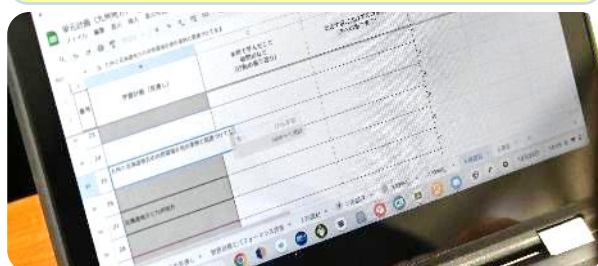
- 単元のゴールに向かって学びを進める。
- 自らの学習計画に従って行動する。
 - ・地域おこし協力隊としてどのような事柄をプレゼンすべきか考えながら行動する。

振り返り

- 学習計画に従って行動できたか振り返る。（本時の振り返り）
 - ・本時で分かったことを記入する。
- 次時に生かす振り返りを行う。（次への振り返り）
 - ・次時へ生かす内容を記入する。



地域おこし協力隊として両地方のメリット・デメリットを踏まえながらプレゼンをするためのスライドを作成しましょう。

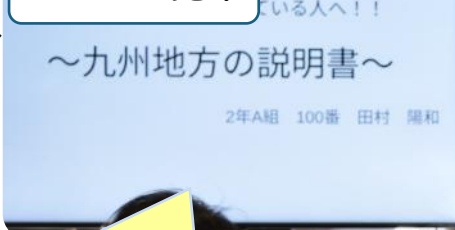


九州と北海道の自然環境をほかの事象と関連付けながら考えて、メリット・デメリットをまとめてみよう。

教科書資料集



スライド見本



教科書の資料を最低2枚はプレゼンにいらしてください。スライドの作成に不安がある人は見本を参考にしてみてください。

北海道は他の都府県と面積が圧倒的に違うので、それを根拠にしたメリット・デメリットを挙げたほうが分かりやすいかな。



これまでの学習プリントを見返してみると、北海道は冬の寒さ対策がしっかりしていることがわかる。これは、ほかの地域と比べやすい事柄だから、スライドにまとめてみよう。



九州も北海道も温泉があって、それは火山があることのメリットだけど……。デメリットは噴火したときに起きる災害だな。温泉というメリットだけでなく、これからの防災対策の在り方についての資料も一緒にまとめて、デメリットの部分なるべく小さくするようにしたほうがいいかな。



本時は、九州地方か北海道地方かを選び、自然環境をほかの事象と関連付けながらスライドにまとめる内容を考えてみた。どちらの地域にも暮らすためのメリット・デメリットがあり、一概にこちらがよいと決めつけることは難しいことが分かった。次回からは、プレゼンの内容を充実させ、地域おこし協力隊としてプレゼンできるように内容をまとめたい。

主体性の目安となる自己調整の度合い

学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子ども	教師	子ども	教師	子ども
7	3	2	8	2	8

教師の指導・支援

- ・授業の最初と最後に行っている「学びのサイクル」により、個人の課題立てや振り返りを行うことができるようにする。【課題】
- ・これまでの学習から、自己の課題に沿って情報を収集し、いくつかの資料を組み合わせたり、比較したりしながらスライドに内容をまとめられるようにする。【過程】
- ・必要に応じて協働的な活動を行ったり、個別に行ったり、教師に聞いたりできるようにする。【形態】

社会科 中学校 第2学年 (8/9時間) 実践例
「地理的分野 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方」

目標：情報交換会を行い、各地方の地域的特色を理解する。

1 単位時間の学習過程と学習活動（3次）

交流とフィードバックを中心とした授業

学習計画（見通し）

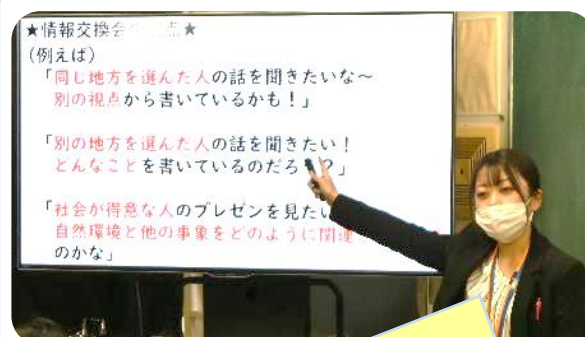
- 単元全体のゴールや本時の課題を捉える。
- 自らの学習計画を立てる。
 - ・それぞれの立場に立ってこれまでに学んだ内容をプレゼンで表現し、交流するための学習計画を立てる。

授業の学び

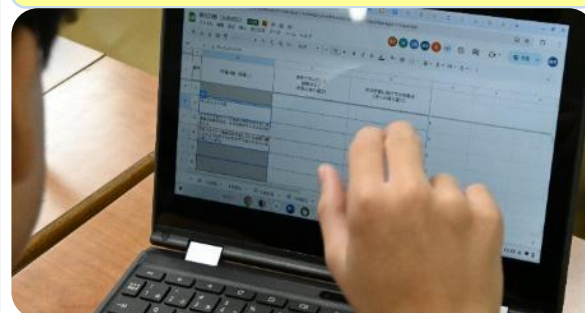
- 単元のゴールに向かって学びを進める。
- 自らの学習計画に従って行動する。
 - ・北海道地方と九州地方のそれぞれの立場に立ったプレゼンテーションを行い、お互いにフィードバックしたり、自分の発表内容を修正したりする。

振り返り

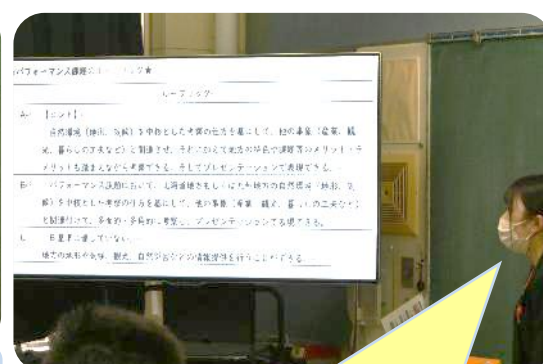
- 学習計画に従って行動できたか振り返る。（本時の振り返り）
 - ・本時で分かったことを記入する。
- 次時に生かす振り返りを行う。（次への振り返り）
 - ・次時へ生かす内容を記入する。



それぞれの立場で実際にプレゼンを行い、よい点や改善点を交流しましょう。



これまでにまとめたプレゼンを交流し合い、各地域の自然環境と関連付けた特色ある暮らしを理解できるようにしよう。



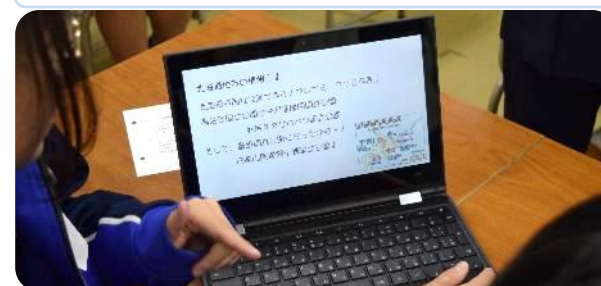
交流のため、今回はルーブリックと評価用紙を印刷して配布しました。ルーブリックを参考に視点をもって交流を行い、評価用紙を渡し合ってください。

ルーブリック

評価用紙



火山の噴火は、一見デメリットのように見えますが、九州地方では噴火の灰を釉薬として使い、工芸品として提供しています。



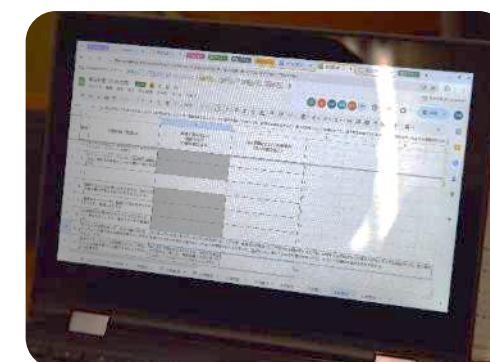
北海道は広大な土地を有しており、移動の苦勞は絶えませんが、その分、自然が豊かで、国立公園が7か所もあります。



自然環境との関連付けもあったし、北海道のことを新しく知れた気がする。



自分は北海道のことをまとめたけど、プレゼンを受けて九州もいいところだと感じられる。



自分と同じ地方をまとめている人がいたけれど、自分とは違う内容を調べていて、面白いと感じた。
違う地方についてプレゼンをまとめた人も、自然環境から起こる災害に対する工夫や、地域の特徴についてまとめていた。
まだ1時間残っているのので、スライドの内容を、パフォーマンス課題やルーブリックを参考に、もう少しよくしてみようと思う。

主体性の目安となる自己調整の度合い

学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子ども	教師	子ども	教師	子ども
7	3	2	8	5	5

教師の指導・支援

- ・パフォーマンス課題を意識した個人の課題立てができるようにする。【課題】
- ・班の人からもらった評価用紙を基にして、情報を取捨選択し、プレゼンテーションを改善することができるようにする。【過程】
- ・教師が設定した条件下での交流で学びを深められるようにする。【形態】